

サンショウモ

Salvinia natans (L.) All.

サンショウモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

比較的広く分布していたが、生育環境が失われ、激減している。(現況:V2-)

形態

葉の長さ10~20mmで対生し、楕円形で両端が丸く全辺。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、口能登区、加賀中央区。

生態など

一年生の浮遊性水生植物、好陽地性の短日植物である。繁殖は茎の分枝と孢子による。孢子は秋に熟し、水で散布する。夏季には旺盛な繁殖を行い、水面を覆う。

生育環境

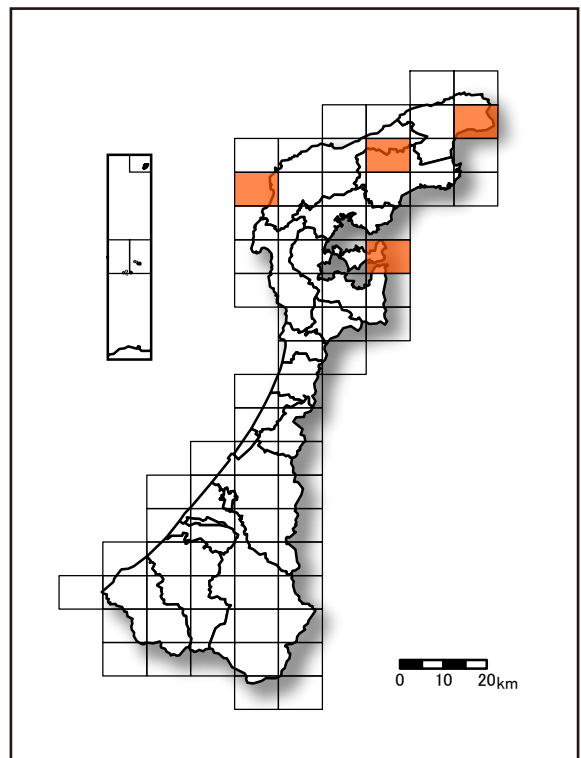
ヤブツバキクラス域の水田、池沼などに生育する。

危険要因

池沼開発、土地造成、自然遷移、農薬汚染、水質汚濁、その他(土地改良)。



小野ふみゑ・2004年10月30日・能登



県内の分布